

「寺岡市民センター・寺岡小学校社会学級共催事業」

寺岡市民センター

1 事業概要

この講座は、寺岡小学校社会学級の企画員の方たちと検討・企画した講座です。寺岡・紫山地域でどのような課題があるか会議を重ね、住民がまちの魅力を再発見し、愛着を持つことへのきっかけと交流の活性化につなげることを目的としています。



2 今年度の活動



「仙台段差崖会」主宰、「せんだいコンセキ発掘塾」塾長の木村浩二先生に講話をしていただきました。

寺岡地域は明治時代は「泉岳村」だったというお話から始まり、仙台には仙台城と若林城の二つの城があったことや、他の城とは違っ

た成り立ちをしていることなど、政宗が造った城下町仙台の特徴についてわかりやすく説明していただきました。

3 成果と課題

地域の皆さんに対し、興味関心が高い仙台の歴史、文化について学びの場を提供したことで、自分の住んでいる地域及び仙台に対する愛着が深まり、魅力を再発見する機会になりました。

企画会議を重ねることにより、コロナ禍のため、住民同士の交流が少なくなっていることや、寺岡と紫山地域の置かれている環境の違いなど、地域が抱えている課題を共有することが出来ました。

今後も住民自ら地域課題に気づき、課題の改善や、地域の活性化に努めるきっかけの場を提供していく必要があると思われま



4 今後の展望



今後も社会学級生と互いに理解を深めて情報交換をし、講座企画に携わることで社会学級生の活動の場を増やすとともに、地域課題の把握や解決に向けた講座を企画、実施していきます。

特に来年度以降、新居住区への新規住民の入居が始まることから、本社会学級共催事業の持つ役割は、より重要度を増すものと思われま